

イノベーションの波に乗る ～中長期的な投資機会をご提供～

グローバル・スマート・イノベーション・オープン (年2回決算型)為替ヘッジあり / (年1回決算型)為替ヘッジあり <愛称:i シフト(ヘッジあり)> (年2回決算型) / (年1回決算型) <愛称:i シフト> 追加型投信 / 内外 / 株式



イメージ動画はコチラ! (データ基準日:2020年12月末)
ファンド情報提供資料
動画は一定期間経過後、予告なく削除されることがあります。
2021年2月

本資料は「グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)為替ヘッジあり / (年1回決算型)為替ヘッジあり <愛称:i シフト(ヘッジあり)>、(年2回決算型) / (年1回決算型) <愛称:i シフト>」の概要について投資家のみなさまにお知らせするために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

旬を見極め世界各国の情報技術およびその派生分野に関連する企業へ投資

当ファンドでは、多様な業種から機動的な投資スタンスで世界各国の情報技術およびその派生分野に関連した成長企業に投資を行い、急速に進化・変遷するテクノロジー領域において、中長期的な投資機会をご提供します。

さまざまな革新的技術等に注目

ロボット



Fintech(フィンテック)



サイバーセキュリティ



eコマース



MaaS(マース・移動最適化のサービス)



・2020年12月末時点の注目分野の一例であり、将来変更となる場合があります。

(ご参考) 類似運用戦略における 変化に対応する迅速な投資行動

- ◆ リターン最大化をめざすための逆張り*1買い
- ◆ 割高と考える局面での利益確定の売り
- ◆ 市場混乱と考える局面でのリスク回避のポジション調整

類似運用戦略の売買回転率*2

(2020年12月末時点)



* 売買回転率 = $\frac{\text{購入金額} - \text{売却金額のうちのいずれか少ない方の金額}}{\text{当該期間におけるポートフォリオの平均時価総額}}$

- *1 相場の流れに逆らって売買すること。相場環境や市場の動きを読み、上げ相場の時に売り、相場環境が悪化し、値下がりしているときに買うこと。
- *2 ファンド内における証券の売買頻度を見る指標のこと。

上記は、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクが運用する類似の運用戦略である、「グローバル・テクノロジー・エキティ・コンポジット」(以下、類似運用戦略)の実績です。当ファンドは、類似運用戦略と同様の運用プロセスで運用しますが、当ファンドは未公開株式への投資を行わない点や同一発行体への投資を純資産総額の10%以下に抑える点などで類似運用戦略とは異なります。類似運用戦略の運用実績と当ファンドの運用実績とは直接的な関係はありません。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

(ご参考) ティー・ロウ・プライス・グループにおける 投資判断の源となる綿密な企業面談

- ◆ グローバルで年間11,000回以上の企業面談を実施、いわゆるカリスマ経営者とも直接面談可能
- ◆ 株価が急落した2020年3月は、月間で世界中の企業経営者と1,200回以上にのぼるビデオ会議を実施し、その数は前年同月比で5倍以上に増加

※ティー・ロウ・プライス・グループについては「実質的な運用を行うティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク」をご覧ください。

カリスマ経営者との面談一例

経営者

ジェフ・バソス氏

マーク・ザッカーバーグ氏



企業
株主順位*3
(保有比率*4)
保有金額*5

アマゾン・ドット・コム
第2位
(3.1%)
5.2兆円

フェイスブック
第3位
(3.5%)
2.8兆円

- *3 各企業におけるティー・ロウ・プライスの順位(パッシブ運用会社と個人株主除く)。
- *4 各企業の発行株式に占めるティー・ロウ・プライスの割合。
- *5 ティー・ロウ・プライスの保有株式を105.53円で円換算しています(株価、保有株式数、為替レートは2020年9月末時点)。
- ・2020年12月末時点で取得可能なBloombergデータを使用しています。
- ・上記は、カリスマ経営者との面談一例をお示すため、銘柄をご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

(出所)ティー・ロウ・プライス・グループのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

(ご参考) 長期にわたって堅調に推移した類似運用戦略のパフォーマンス

類似運用戦略のパフォーマンスは、20年を超えて堅調に推移しました。

類似運用戦略のパフォーマンス推移

(期間:2000年10月末~2020年12月末)



・2000年10月末=100として指数化。
・上記の類似運用戦略は、運用報酬控除前、米ドルベース、配当および収益再投資のパフォーマンスを表しています。

上記は、類似運用戦略のパフォーマンスを表しており当ファンドの運用実績とは直接的な関係はありません。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ティー・ロウ・プライス・グループのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

実質的な運用を行うティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク

当ファンドの実質的な運用は、ティー・ロウ・プライス・グループの運用会社であるティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクが行います。

ティー・ロウ・プライス・グループについて

(2020年9月末時点)

- ◆ 1937年に設立
- ◆ グローバルに資産運用業務を行う
- ◆ 運用資産残高*6:1兆3,104億米ドル(約138兆円)
- ◆ 資産別では株式が約8割、株式のアクティブ運用に強み
- ◆ 329名の株式調査の専門家を有する

*6 為替は1米ドル=105.53円で換算しています。

ティー・ロウ・プライス・グループの運用資産残高推移*6

(期間:2011年~2020年、2020年は9月末時点)



(出所)ティー・ロウ・プライス・グループの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・上記の画像はイメージです。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。・グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)為替ヘッジありを「(年2回決算型)為替ヘッジあり」、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型)為替ヘッジありを「(年1回決算型)為替ヘッジあり」、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)を「(年2回決算型)」、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型)を「(年1回決算型)」という略称で記載する場合があります。また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」という場合があります。【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

各ファンドの運用状況

基準価額等の推移

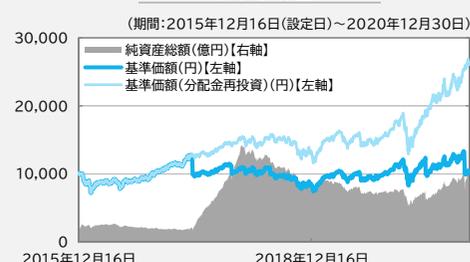
(年2回決算型)が替ヘッジあり



(年1回決算型)が替ヘッジあり



(年2回決算型)



(年1回決算型)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。・また税金、手数料等を考慮していません。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮してありません。

ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式等を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- 情報技術およびその派生分野に関連する企業のうち、革新的技術等によって今後の成長が期待される企業の株式等に投資を行います。
 - ◆日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。※なお、不動産投資信託証券その他の証券に投資する場合があります。
 - ◆株式等への投資にあたっては、「スマート・インノベーション」に着目し、情報技術の業種の範疇に留まらず多様な業種から、ファンダメンタルズ分析に基づいた銘柄選定を行います。
 - ※当ファンドにおいて、ファンダメンタルズ分析とは、個別企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析をいいます。
 - ※当ファンドにおいて、スマート・インノベーションとは、情報技術およびその派生分野における革新的技術等がもたらす変革のこをいいます。
 - ◆株式等の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

- 株式等の運用にあたっては、ティー・ロウ・プライス・アソシエイティングに運用指図に関する権限を委託します。
 - ◆ティー・ロウ・プライス・アソシエイティングは、グローバルな運用・調査体制を有しており、定性・定量の両面から優れていると委託会社が判断し、運用委託先を選定しました。
 - ※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

- <(年2回決算型)が替ヘッジあり> / <(年1回決算型)が替ヘッジあり>原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
 - ◆保有する外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることに留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。
 - <(年2回決算型)が替ヘッジあり> / <(年1回決算型)が替ヘッジあり>原則として為替ヘッジを行いません。

- <(年2回決算型)が替ヘッジあり> / <(年2回決算型)>年2回決算を行い、収益の分配を行います。
 - <(年1回決算型)が替ヘッジあり> / <(年1回決算型)>年1回決算を行い、収益の分配を行います。
 - <(年2回決算型)が替ヘッジあり> / <(年2回決算型)>
 - ◆毎年6月5日および12月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000円当たり)を超えている場合には、当該超過している部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)
 - ※分配後の基準価額が必ずしも10,000円には限りません。
 - <(年1回決算型)が替ヘッジあり> / <(年1回決算型)>
 - ◆毎年12月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針 ・分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます)等の全額とします。
・収益分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。)

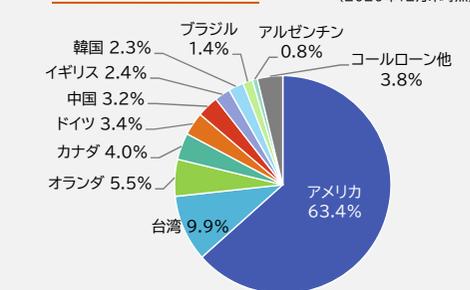
将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行なわれる場合があります。

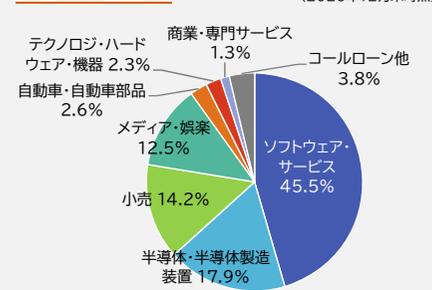
投資リスク

基準価額の変動要因:基準価額は、株式・リート市場の相場変動による組入株式・リートの価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならずご本人に帰属します。したがって、投資者のみならずご本人の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。上記は主リスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

組入上位10ヵ国・地域



組入上位10業種

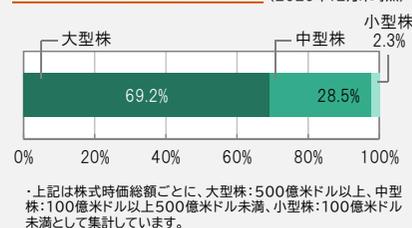


組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 シー	台湾	メディア・娯楽	5.0%
2 アマゾン・ドットコム	アメリカ	小売	4.5%
3 ショッピングバイ	カナダ	ソフトウェア・サービス	4.0%
4 TSMC/台湾セミコンダクター	台湾	半導体・半導体製造装置	3.7%
5 アトラシアン	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.2%
6 クラウドストライク・ホールディングス	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.0%
7 ワークデイズ	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.9%
8 フェイスブック	アメリカ	メディア・娯楽	2.7%
9 ネットフリックス	アメリカ	メディア・娯楽	2.7%
10 セールスフォース・ドットコム	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.6%

・当ファンドの代表的なファンドのデータとして「(年2回決算型)」のデータを掲載しています。「組入上位10ヵ国・地域、組入上位10業種、組入上位10銘柄の比率は純資産総額に対する割合、組入株式の時価総額別比率は現物株式評価額に対する割合です。業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入株式の時価総額別比率



・上記は株式時価総額ごとに、大型株:500億米ドル以上、中大型株:100億米ドル以上500億米ドル未満、小型株:100億米ドル未満として集計しています。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

ファンドの費用

【購入時手数料】購入価額に対して、上限3.30%(税込 3.00%) 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。【信託財産留保額】換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%をかけた額【運用管理費用(信託報酬)】各ファンドの日々の純資産総額に対して、年率1.980%(税込 年率1.800%)をかけた額【その他の費用・手数料】監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※(年2回決算型)が替ヘッジあり / (年2回決算型):運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。 ※(年1回決算型)が替ヘッジあり / (年1回決算型):運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎決算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。 ※実質的な投資対象である不動産投資信託証券には運用等にかかる費用が発生しますが、投資する不動産投資信託証券は固定されていない等により、あらかじめ金額および上限等を記載することはできません。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

【本資料に関するご注意事項等】 ■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しの最新の投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。 ■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

投資信託説明書(交付目録見書)のご請求は下記の販売会社まで (2021年2月12日現在)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般信託法人日本投資顧問業協会	一般信託法人金融植物取引業協会	一般信託法人第二種金融商品取引業協会
株式会社阿波銀行 (年2回決算型)のみ取扱い	登録金融機関	四国財務局長(登録)第1号	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
おきん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○	○	○
東海東京証券株式会社 (年2回決算型) / (年1回決算型)のみ取扱い	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登録)第5号	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行(第二種金融商品取引業者) 三菱UFJリガラン・スタンダード証券株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登録)第5号	○	○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(金商)第33号	○	○	○
三菱UFJリガラン・スタンダード証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第233号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
ワイエ証券株式会社(年1回決算型のみ取扱い)	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第3号	○	○	○

設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会